



ツナグバ成果報告会 GA 2021年の活動紹介

発表者

Glocal Avancer

熊谷桜

Glocal Avancerとは

設立経緯: One For All(NPO)「温故知新」の**スピンアウト**団体

活動趣旨: 「**Glocal**」**Global & Local**: **国際的**な視野を持ち**地元**で活動

目標 : 多文化共生社会と国際学園都市

GLOCAL JOURNEY

高校生を中心に活動する

GLOCAL AVANCER

大学生を中心に活動する

今年度の目標

コロナに負けるな!
オンライン/オフライン国際交流

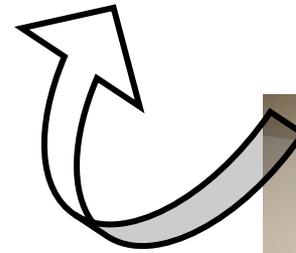


活動メンバー 全員山口県出身



コード名	学年	専攻	所在
① ジャスミン	4	マーケティング	韓国釜山
② サクラ	3	経営情報	山口
③ ハヤト	3	国際ビジネス	山口
④ チェリー	3	観光	和歌山
⑤ ズミ	2	政策科学	福岡
⑥ シバチャン	2	国際総合科学	山口
⑦ マモ	2	幼児教育	山口
⑧ フィッシュ	2	医学部	山口

新規加入 1年生メンバー



<教育機関>

- ・山口大学
- ・宇部フロンティア大学
- ・宇部高専
- ・市内各高校
- ・宇部留学生交流会
- ・下関市立大学
- ・徳山大学

<参加国>

- ・韓国
- ・台湾
- ・中国
- ・マレーシア
- ・インドネシア
- ・タイ
- ・ベトナム
- ・バングラディシュ
- ・フィリピン
- ・モンゴル
- ・アメリカ
- ・カナダ
- ・グアテマラ
- ・豪州
- ・ドイツ
- ・ジブチ 等

グローバル
アバンセ

大学生13名

<活動指導>

- ・農業指導員の皆様
- ・講師の皆様
- ・ワン・フォー・オール

<広報活動>

- ・NHK山口放送局
- ・宇部日報社

支援
協力

連携

支援
協力

<小学校>

宇部市立吉部小学校
府中市立栗生小学校

<海外高校>

マレーシア
インドネシア
ベトナム



2021年の活動紹介

計画

吉部小学校地域
小学生と留学生の交流

オンライン
オフライン

中断

吉部小学校 コロナにより活動中断(4～10月)

新規

5～6月
栗生小学校(広島)
8～10月
ASEANの高校とのディベート
(マレーシア,インドネシア,ベトナム)

オンライン

実施

11月～
吉部小学校(交流再開)
・国際講義
・留学生ともちつき大会

オフライン

当初の計画

コロナに負けるな！
オンライン／オフライン国際交流

活動地域： 宇部市吉部(きべ)地区(中山間地域)

連携先： ・吉部小学校・同校放課後子供委員会・市内在住留学生

対象： 地域の・小学生・住民の皆様・留学生

活動時間： 放課後実施(同校放課後子供委員会が主催)

オンラインとオフラインの交流を企画

～オンライン～

<ゲーム><各国紹介>
<日本についての学習>

～オフライン～

在留外国人と共に日本の伝統文化
や四季折々の歳時交流

吉部地域を選んだ理由

- ・吉部小学校はコミュニティスクールでこれまでに交流機会があった(コミュニティスクール:学校と住民の共同地域活動)
- ・英語教育が盛んで、国際交流に理解がある

吉部交流ができなくなった理由

吉部小学校の判断(4月初旬連絡)

- ・2月～3月:学校区内の介護施設で100人規模のクラスター発生
→子供達は授業終了後、一斉帰宅の方針決定
- ◎**放課後の活動に学校施設の使用禁止**
 - ・放課後子供委員会も学校方針に添って、活動停止
 - ・学校内ではオンラインでも放課後は禁止
- 子供達との共同活動を見合せ

代替となる活動対象を求め、[OFAや留学生に相談](#)

OFAから

栗生(くりぶ)小学校
広島県府中(ふちゅう)市

山大留学生から

ASEAN高校ディベート
英語ディベート
日本語トークショー

栗生小学校(広島)

オンライン国際交流

準備期間:5月~6月/GA参加者4名

実施日程:6月18日(金)

実施場所:栗生小学校(広島県府中市)

内容

題材:お互いの文化の紹介

栗生小学校の背景

コミュニティ・スクールカフェ

空き教室を地域住民と飲食可能な
交流スペースに再生
(全国で3校)

国際交流活動に熱心



マレーシア・インドネシア留学生と
お互いの文化の説明と質疑応答の様子

参加者

小学6年生 : 26名

教員・地域住民 : 15名

GA側

メンバー : 4名

留学生 : 3名

(合計:48名)

ASEANの高校とのディベート

バルーン・ディベート/オンライン

準備期間: 8月～10月/GA参加者6名

実施日程: 10月13日(水)

実施場所: Youtube上

内容

テーマ: 11種の絶滅危惧種の中から
生存させるべき動物を選ぶ

使用言語: 英語

10月13日: 参加者

ASEANの高校生 : 10名

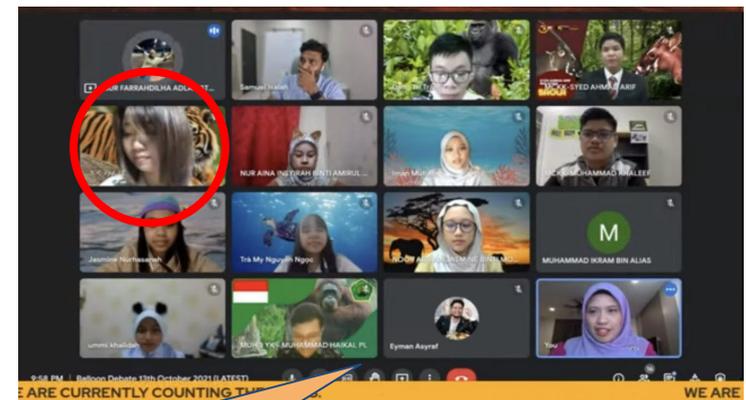
マレーシア・インドネシア・ベトナム

宇部高専生 : 1名

(合計11人のディベート)

各国の教員 : 約30名

閲覧者 : 約400名



担当の動物になり
きってディベートをし
ている様子



ASEANの高校との交流会

日本語トークショー／オンライン

準備期間：8月～10月/GA参加者8名

実施日程：10月27日(水)

実施場所：Youtube上

内容

テーマ：パンデミックでの生活

使用言語：日本語

10月27日：参加者

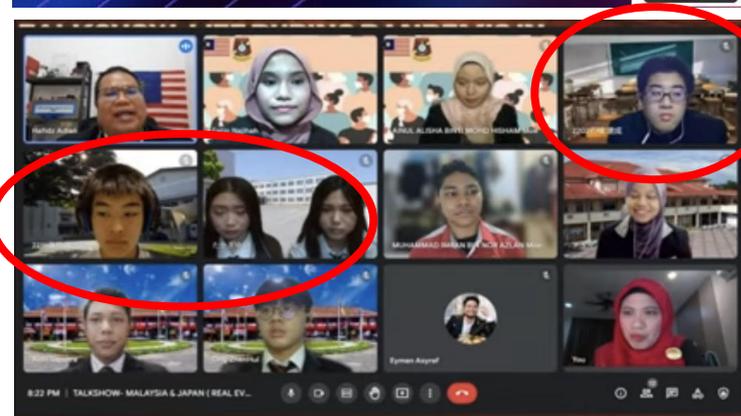
マレーシアの高校生：6名(日本語クラス)

宇部高専生：2名

宇部高生：2名

(合計10人のトークショー)

マレーシアの教員：10人(日本語教員8名)



ASEAN高校とのディベート効果

宇部市内の国際交流活動への貢献

・宇部高専

国際交流に力を入れており、学校としてGAとの連携を強化したい
→GAの活動紹介の要請があり、22年1月11日にプレゼン実施予定

・宇部高校

個人単位で国際交流活動への参加を希望
→希望者向けにプレゼン随時実施



- ・市内の高校生の参加が拡大することで、**交流人口が増加**
- ・海外との交流により**オンライン国際交流の幅が拡大**

吉部交流再開

もちつき大会

企画連携: GA, 小学校放課後子供委員会

実施日程: 12月5日(日)

実施場所: 吉部地区 (委員会メンバー宅)

内容

- ・もちつき
- ・窯でご飯炊き
- ・焼き芋
- ・焼き魚

参加者

留学生 : 18名
(小学生3名)

吉部の皆様 : 8名

GA : 8名

(合計34名)



お餅づくり

窯でご飯炊き

吉部小学校(交流再開)

国際講義

企画連携: GA, 吉部小学校

実施日程: 12月6日(月) 2時間

実施場所: 吉部小学校内

内容

GAメンバーの海外経験の講義

参加者

5, 6年生 : 9名

教職員 : 6名

子供委員会の方 : 1名

GAメンバー : 3名

(合計19名)



吉部小学生へ向けて
海外の学校生活の話をしている様子

参加者の声

栗生小学生

- ・マレーシアとインドネシアについて事前に勉強してたが、実際に聞けて良かった。
- ・小学校にALTがいるが学校の授業とは全然違った。
- ・オンラインだけどライブ感があった。
- ・ASEANの方とは初めてのコンタクトで、とても新鮮だった。
- ・食物の話では東南アジアと日本料理の共通点を見つけられて楽しかった。

吉部小学生

- ・講師が吉部出身なので、海外へ行くことが身近に感じた。
- ・中学校に行っても講義して欲しい。

留学生

- ・日本では習う立場だが、小学生との交流では教える側に立てたので楽しかった。
- ・年が離れた子供達との交流は新鮮だった。

ASEANディベート

- ・英語ディベート:とても緊張したが学校英語とは違う討論英語を学ぶことができた。
- ・高校生:国際交流は英語の先入観があり、日本語でも交流が出来ることを知ってとても愉快だった。コミュニケーションが楽し、今までの国際交流のイメージが変わった。

まとめ

成果

- ・参加者に国際交流が身近なものだとを体験してもらうことができた。
- ・国際交流のイメージを楽で楽しいものに変えることができた。
- ・参加者が卒業後も交流が続けられるような活動ができた。

反省点

- ・リスクヘッジ能力が不十分
- ・オフラインでのコロナ感染をどう防ぐか、万一感染者が出た場合の対応力がない為、オフラインができない状態が長く続いた。

来年度について

- ・小学校が卒業後の交流を企画(吉部／栗生小学校)
→中学生たちとの交流をどう対応していくか考える。

吉部小学校の要請

中学は地区が変わるためこのような国際交流活動ができない。
卒業した経験者たちが参加できるような企画を設定したい。

ご清聴
有難うございました！



Since 2018